

登録者数**52万人超!**
大人気YouTubeチャンネル

「山田五郎 オトナの教養講座」待望の書籍化第2弾
『**世界一やばい西洋絵画の見方入門2**』10/27発売



面白くて教養も身につくと大人気！登録者数52万人超のYouTubeチャンネル「山田五郎 オトナの教養講座」をコンパクトにまとめた書籍『「山田五郎 オトナの教養講座」世界一やばい西洋絵画の見方入門2』を2023年10月27日（金）に発売します。

本書は、昨年8月に刊行し好評を博した『「山田五郎 オトナの教養講座」世界一やばい西洋絵画の見方入門』に続くシリーズ第2弾で、2022年にYouTubeにアップされた動画に登場する画家を紹介しています。「ゴヤが描いた史上初ヘアヌードのモデルは誰?」「画家シッカートが切り裂きジャックの正体!？」など名画の謎を山田五郎氏が徹底解説。人物相関図&年表付きで、YouTubeでは語られていない本書初公開の話も掲載。バラバラだった各画家の解説を時系列にまとめ直しているの、西洋絵画の流れや画家同士の関係性も楽しみながら学べる一冊です。

『「山田五郎 オトナの教養講座」世界一やばい西洋絵画の見方入門2』
発売日：10月27日（金）／定価：1760円（税込）

「可愛いイレーヌ」の破天荒な人生とは？ 書籍から一部をご紹介します！

印象主義

（シャルパンティエ夫人とその子どもたち）（複製）がサロン（官展）で好評だったと聞いたエダヤ財閥のカーン・ダンヴェール伯爵夫人が、三姉妹の肖像画を依頼。最初に描いたのが当時8歳の長女イレーヌでした。ルノワールは背景に印象主義の筆触分割、衣裳と手にマダムの素早いタッチを用いながらも、顔と髪はちゃんとした古典的な清らかな顔影で仕上げましたが、伯爵夫人はそれでもまだご不満だったそうです。

ピエール・オーギュスト・ルノワール『（イレーヌ・カーン・ダンヴェール嬢）』1880 油彩・キャンバス 81×65cm
オルセー美術館蔵、パリ

第2回印象派展出品作。印象主義のキモとなる筆の影を筆触分割で肌に着き、「死ねたい」と酷評されていました。

ピエール・オーギュスト・ルノワール『（イレーヌ・ダンヴェール嬢の肖像）』1879年 油彩・キャンバス 81×65cm
オルセー美術館蔵、パリ

人物画には向かなかった印象派の筆触分割

美少女とその肖像の数奇な運命

1841-1919 ルノワール
Pierre-Auguste Renoir

「絵画史上最も有名な少女像」ほんのり色が透ける頬と、柔らかく流れる豊かな髪。ルノワールが当時8歳になるエダヤ財閥の令嬢イレーヌを描いたこの肖像画は、印象主義の筆触分割と古典主義の陰影が絶妙なバランスで融合。世界中でさまざまな商品のパッケージなどにも使われてきた一大傑作です。

ところが、注文主である少女の両親は、出来に不満だった模様。本作は使用人部屋に押しやられ、その後も数奇な運命を辿るのです。そして、描かれた少女本人も。

「可愛いイレーヌ」の破天荒な人生とは？ 書籍から一部をご紹介します！

世界一有名な少女像もお母様はお気に召さなかったみたい

- Topics**
- 1.後期ゴシック
 - 2.初期フランドル派
 - 3.ルネサンス
 - 4.マニエリスム
 - 5.バロック
 - 6.ロココ
 - 7.ロマン主義
 - 8.象徴主義
 - 9.印象主義
 - 10.分離派
 - 11.ポスト印象主義
 - 12.ヴィクトリア朝
 - 13.素朴派
 - 14.ポスト印象主義
 - 15.分離派
 - 16.青騎士
 - 18.エコール・ド・パリ
 - 19.明治日本
- わかりやすく時系列で紹介**

動画ではさらに詳しく解説！



【山田五郎（やまだごろう）プロフィール】
1958年、東京都生まれ。上智大学文学部在学中にオーストリア・ザルツブルク大学に1年間遊学し、西洋美術史を学ぶ。卒業後、講談社に入社。『Hot-Dog PRESS』編集長、総合編集局担当部長などを経てフリーに。現在は時計、西洋美術、街づくりなど、幅広い分野で講演、執筆活動が続いている。著書に『「山田五郎 オトナの教養講座」世界一やばい西洋絵画の見方入門』（宝島社）、『知識ゼロからの西洋絵画入門』『知識ゼロからの西洋絵画史入門』『知識ゼロからの西洋絵画 困った巨匠たち対決』『知識ゼロからの近代絵画入門』（すべて幻冬舎）、『ヘンタイ美術館』（ダイヤモンド社）、『へんな西洋絵画』（講談社）、『闇の西洋絵画史』（全10巻、創元社）など。TV『出沒！アド街ック天国』（テレビ東京）などにレギュラー出演中。ラジオ『山田五郎と中川翔子の「リミックスZ」』（JFN）などにレギュラー出演中。